

NISSIN ELECTRONIC CO.

5-46 HIASHI-KEBUKURO
TOSHIMAKU, TOKYO, JAPAN

PHONE :
(03) 3865-9171



ストロボスコープ・ストロボ装置

日進電子工業株式会社

〒170 東京都豊島区東池袋5-46-9 TEL (03) 3865-9171
FAX (03) 3861-7031

ショートアークストロボ ランプハウスの光軸調整について

長期間ご使用いただいておりますと、リフレクタの位置がずれ集光点位置がライトガイド受光部から外れてしまうことがあります。
光量低下の原因にもなりますので、集光位置が外れていないかの定期的な点検をお勧めいたします。

作業上のご注意!!

ランプ先端の+電極（外観図22）には絶対にさわらないようにしてください。
高圧電圧がかかっており、触れると感電します。

- 用意するもの A. 濃いめのサングラスなど
（集光している部分を見るため。裸眼では眩しくて正確にわかりにくい
です。目の保護の兼ねます。）
B. 厚めの白い紙など
（集光位置の確認のため。薄手の紙でもできますが、厚い方がやりやすい
です。）

調整方法

1. ランプ交換と同じ要領でランプハウスカバーを外し、リフレクタが見える状態とします。
2. ライトガイドは取り付けいた状態のままとしてください。
3. リフレクターは次の4種の部品で固定または調整できるようになっています。
 - ・バネ3点で取付板に固定。（リフレクタ背面にあります）
（このバネは外さないでください。取り付け直すのが大変です。）
 - ・+ビスとL金具各3点で上下左右に動かないよう固定。
 - ・ローレットビス3点（外観図⑧）で前後の位置を調整。
 - ・ランプユニット位置調整用ビス（外観図⑪）でランプ・リフレクタなどを一体の
ものとして動かします。
4. 発光させながら差し込まれているライトガイドの受光部を見てください。
受光部分の中央に集光点が来ているかどうかを確認します。
! ランプ先端の+電極（外観図22）には絶対にさわらないように
してください。高圧電圧がかかっており、触れると感電します。
 - ・Aのサングラスなどをかけて見てください。
 - ・Bの白い紙を受光部分に重ねあわせると集光点がより見やすくなります。
5. Bの紙を上下前後に少し動かして、一番明るくなっている集光点がライトガイド受光部
の中央にきていればOKです。
ずれている場合や集光点の中程に黒い影がでている場合は焦点位置があっていません。
位置がずれている——リフレクターを固定している+ビスとL金具各3点をいったんゆる
め、リフレクタの位置を上下左右に動かしてください。
集光点を受光部中央付近にもってきたところで、L金具を+ビス
で固定してリフレクターが動かないようにします。
影がでている——リフレクタの位置が前後にずれていることが考えられます。
ランプユニット位置調整用ビス（外観図⑪）をゆるめるとランプユニ
ット全体を前後に動かすことができますので、影の出ない位置を探
してください。ローレットビス3点（外観図⑧）はリフレクタ位置だ
けを前後させることができます。微調整用にお使いください。
6. ランプの電極位置は個体差間の誤差が若干あります。
完全に中央の位置にあわせきれない場合もありますのでご了承ください。
また、ライトガイド受光部の結束径が小さい場合も焦点にあわせにくいことがあります。